

埼玉県議会議員

県政報告

令和5年(2023年)秋号

# 阿左美けんじ

A S A M I

K E N J I

■県議会9月定例会報告

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団  
埼玉県議会議員 阿左美健司  
〒368-0033 秩父市野坂町1-3-1 野坂ビル3F  
TEL.0494-26-7435 FAX.0494-26-7434

URL <https://asami-kenji.com/>

■役職 埼玉県議会 自由民主党議員団 幹事

■所属委員会 警察危機管理防災委員会 (委員長) / 経済・雇用対策特別委員会

## 県議会9月定例会報告

補正予算  
【第2号】

# 165億1,057万9千円

## コロナ支援継続・重要公共事業の追加・eスポーツ普及へ

県議会9月定例会は9月22日から10月13日にかけて開催され、一般会計補正予算【第2号】165億1,057万9千円の計上等を議決しました。

補正予算の主な内容は、高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続のための予算として69億4,946万6千円、公共事業の追加予算として21億6,345万3千円、企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大のためのイベント開催に要する予算として1,062万9千円など、当面对応すべき事業に対する補正予算が盛り込まれました。

一方、自民党県議団が提案しました「埼玉県虐待禁止条例の一部を改正する条例(案)」については、皆さまからいただいたご意見・ご指摘を真摯に受け止め、10月10日に取り下げを決定いたしました。

今後も県民皆さまの安心・安全実現のために全力で取り組んでまいります。引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いたします。



9月定例会では一般質問に立ち8項目18件について、県の施策に対し質問・提言を行いました(10月4日)。2頁にその概要を掲載しておりますので、どうぞご一読いただき県政に対するご意見やご要望等をお寄せください。

### シェイクアウト埼玉へのご参加、ありがとうございました。

■実施日：令和5年9月1日 11時58分～ ■参加人数：594,476人

関東大震災から100年を契機に、県議会議員が中心となって県内一斉防災訓練を働きかけることで、県民をはじめ県内在勤・在学の方の「自助」「共助」の意識向上をめざし、シェイクアウト埼玉(埼玉県内一斉防災訓練)を実施させていただきました。多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。



## 地域の発展と安心・安全の実現に向け全力!!



### 赤い羽根共同募金活動に参加

県議会社会福祉推進議員連盟は10月3日、赤い羽根共同募金駅頭奉仕活動をJR浦和駅で行いました。



### 両神山麓花の郷「ダリア園」にて

約1万㎡の敷地に350種類、約5,000株のダリアが咲き誇っていました。写真は地元ボランティアの皆さまと(10月18日)。



### 自転車道路競走大会に参加

9月3日、第71回秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会が開かれ、開会式とパレードランに参加しました。

### 警察危機管理防災委員会で東京消防庁を視察



私が委員長を務める警察危機管理防災委員会は8月31日、自然災害に対する先進的な取り組みや対策を学ぶため、葛飾区に設置された東京消防庁即応処部隊を視察しました。



▲横瀬町出身の浅見賢一部隊長(東京消防庁警防部救助課即応処部隊)と

### 九都県市合同防災訓練に出席

第44回九都県市合同防災訓練が、8月27日に志木市役所・いろは親水公園等で開催され、警察危機管理防災委員長として出席しました。



▶大野元裕知事と



# 一般質問報告 (県議会9月定例会 / 令和5年10月4日)

## 県の施策に対し8項目について **質問 提言**

### 1 知事の公約について(知事)

**(1) DXの新たなフェーズについて～県民へのDXの浸透～**  
 2期目の4年間で具体的にどのようなレベルにしたいと考えているのか質問。知事は「デジタルと人間それぞれに適したタスクを見極め、業務の更なる効率化とサービス向上を目指すタスク・トランスフォーメーションを全庁的に浸透させていきたい」と答弁。次に、**市町村のレベルを高めていくための支援策について質問**。知事は「他自治体の先進事例の紹介の他、IT事業者と市町村とのマッチング、国の事業を活用した専門アドバイザーの派遣や交付金の採択など支援を強化していく」と答弁。

**(2) 林業の流通整備について**  
 林業・木材産業の諸課題をどのように解決するのか質問。知事は「県産木材・住宅用木材・集成材の3つのサプライチェーンの構築を支援していく。また、森林組合、製材業者、工務店などで構成した協議会を設立し、需要と供給をマッチングできる体制の構築に向け検討を始めた」と答弁。

### 2 伝統芸能の魅力・継承

**(1) 伝統芸能の魅力について(知事)**  
 伝統芸能の魅力を発揮させるためにどのような取り組みが必要か質問。知事は「議員のご意見はたいへん示唆に富んだものと思う」とした上で、「県のこれまでの支援策に加え、今後は伝統芸能の体験という視点も加えて取り組みの充実をめざしたい」と答弁。



秩父歌舞伎正和会

**(2) 伝統芸能の継承に係る人材の環境づくり(県民生活部長)**  
 参加しやすい環境づくりが必要であり、そのためにはどのような取り組みを行うのか質問。県民生活部長は「『埼玉郷土芸能サポーター制度』への登録団体を増やして気運を高め、参加しやすい環境づくりを進める」と答弁。

### 3 第75回全国植樹祭について(知事)

今後の実行委員会の総会ではどのような事項を決定するのか質問。知事は「令和6年1月の第4回総会では参加者数などの基本計画やポスターのデザイン原画などについて決定する予定」と答弁。次に、**どのような大会にしていきたいと考えているのか質問**。知事は「大会テーマに沿って、森林・水・木材と私たちの暮らしとの結びつきを再認識し、豊かな森林を次世代へ着実につなげていく契機となる大会にしたい」と答弁。



### 4 成年後見制度の利用促進について(福祉部長)

**(1) 制度の利用促進のための現状の課題と今後の取組について**  
 中核機関の設置について、どのように取り組んでいくのか質問。福祉部長は「中核機関の職員のスキルアップを図る研修を今年度から実施。県弁護士会等の協力のもと、専門の見地から助言を行う体制の充実も図り、中核機関の機能強化をさらに進める」と答弁。



**(2) 法人後見普及のための取組について**  
 法人後見を普及するために県はどのように取り組むのか質問。福祉部長は「『埼玉県成年後見制度利用促進協議会』や7つの地区別協議会に法人後見実施団体も新たに加えて一層の充実を図り、普及に取り組んでいく」と答弁。

### 5 選挙における一票の重みについて(選挙管理委員会委員長)

より多くの方の投票機会が確保できるよう、郵便等投票の対象範囲を拡大することを国に要望するなど取り組むべきと提言。選挙管理委員長は「これまでも都道府県選挙管理委員会連合会を通じて国に要望している。引き続き国に要望していく。また市町村選挙管理委員会と連携し、移動が困難な方への支援などにも努めていく」と答弁。

#### プロフィール



1987年 城北埼玉高校卒  
 1991年 明治大学法学部法律学科卒  
 株式会社 キーエンス  
 2005年 東京海上日動火災保険株式会社  
 2010年 株式会社 アシスト  
 2015年 横瀬町議会議員  
 2019年 町議会副議長(2年)  
 2021年 埼玉県議会議員

### 6 埼玉県水道ビジョンの改定に係る今後の県内水道一本化について(保健医療部長)

県内水道一本化または広域化に向けた各事業者への具体的な働きかけなど、今後の取り組みについて質問。保健医療部長は「まずは資材の共同購入などを提案し、事業者が連携するきっかけをつくっていく。統合に関心の高い事業者をマッチングするなど、新たな検討の場を設けていきたい」と答弁。

### 7 県北地域、秩父地域の医療体制の強化について

**(1) 医療人材の確保について(知事)**  
 具体的にどのような取り組みとなるのか質問。知事は「自治医科大学卒業生の県職員医師としての派遣(4病院14人)の維持に努める。小児二次救急輪番の支援については、今年度は186回派遣する予定。さらに医学生に向けた奨学金制度を充実させ地域医療提供体制の強化につなげるなど、引き続き取り組んでいく」と答弁。

**(2) 医療資源の地域偏在、診療科偏在解消に向けた取組について(保健医療部長)**  
 医療資源の地域偏在、診療科偏在解消に向け、医療の広域連携などを検討してもらいたいと提言。保健医療部長は「ICTの活用は医療資源の地域偏在解消に有効と認識しており、今後の動向も注視しながら医療現場の声を踏まえつつ取り組んでいく」と答弁。

**(3) 医療体制の強化における県と市町村の関わりについて(保健医療部長)**  
 日頃から市町村が地域医療機関との連携を深めていくべきと提言。保健医療部長は「県では各二次医療圏に医療関係者と市町村の担当課長で構成する『地域医療構想調整会議』を設置しており、同会議において市町村に発言や提案などを求め、主体性が発揮されるよう促していく」と答弁。

### 8 地元問題(県土整備部長)

**(1) 秩父地域の道路整備について**  
 地域の活力を維持していくためには基幹道路や生活を支える身近な道路など、交通環境の充実を図る必要がある。県は今後どのように進めていくのか質問。県土整備部長は「『災害に強い道づくり』『生活の質を高める道づくり』『地域の良さを活かす道づくり』を基本目標に掲げ、土地利用の状況や交通ニーズの変化など地域の実情を的確に把握し取り組んでいく」と答弁。

**(2) 国道299号中郷交差点の整備について**  
 現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。県土整備部長は「これまでに路線測量が完了。令和5年度は現在実施している交差点の設計がまとも次第、地元説明会を実施し用地測量に着手する」と答弁。

**(3) 県道長瀬玉淀自然公園線の整備について**  
 現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。県土整備部長は「北側約0.8kmのバイパス区間については道路や橋りょうの詳細設計が完了し、令和5年度は用地測量を進めている。南側約1kmの現道拡幅区間については用地買収率は99%、残る用地の取得を進めるとともに三沢川の付け替え工事に着手する」と答弁。

**(4) 国道140号の歩道整備について**  
 現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。県土整備部長は「測量設計や用地測量が完了し、令和5年度は現在実施している物件調査が完了次第、用地取得に着手していく」と答弁。

**(5) 小鹿野町両神薄の急傾斜地崩壊対策について**  
 現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。県土整備部長は「地質調査と詳細設計が完了し、今年7月に地元説明会を開催した。今後は必要な用地の寄附を受けた上で、崖下に擁壁を設置するなどの対策工事を順次進めていく」と答弁。

**(6) 県道熊谷小川秩父線の整備について**  
 現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。県土整備部長は「用地取得が完了し南側86m区間で崖を削り、法面を補強する工事を実施してきた。工事進捗率は61%、令和6年度の完成に向け取り組んでいく」と答弁。

地元から多くの方が傍聴にお越しいただきました。

